

保護者・生徒用

愛ことば

～安倉中愛 友よ～

宝塚市立安倉中学校
校長だより
2024(令和6)年
12月25日(水)
第22号

安倉中生みんなよくがんばったよ

「若い時は明日が無限。そうやねん。」その2 ～終業式で伝えたかったこと～

そそれが大事 部活動壮行会

3年生の部活動最後の大会となる中体連夏季総体^{そうこうかい}に向けて、先生たちで練習して6月27日の部活動壮行会でお披露目した「それが大事」でした。「安倉中愛応援歌2024 いちゃりばちょ～で～」も登場して大いに盛り上がりました。先生たちの皆さんへの思いは伝わったでしょうか。ほんの数分足らずでしたが、この応援歌が生徒の皆さんや先生たちの心の中にいつまでも残ってくれていたら嬉しいです。「ダメになりそうな時」には思い出してください。

うスポーツフェスティバル→うんどうかい

スポーツフェスティバルの頭文字は「す」ですが諸般^{しよはん}の事情?で、「う」です。スポーツフェスティバルは一般には「うんどうかい」と言われるので、ここは強引に「う」となりました。3年生の修学旅行から間もない6月6日のスポーツフェスティバル。平日開催でしたが、今年も多くの保護者・地域の皆様の声援をいただきながら青春(アオハル)の一日を過ごしました。後輩を引っ張る3年生のおかげで、全校たて割りのブロック対抗の取組に充実の手ごたえを感じました。地域の方からも「元気エネルギー幸せを頂きました」の手紙も頂戴し「結果よりプロセス」を共有できた一大イベントとなりました。

や山形和行さん講演会

4月の全校集会で紹介した山形和行さん^{やまがたかずゆき}が10月11日来校されました。「西から昇ったお日様が東へ～ 沈む～♪」というバカボンパパのセリフですが、元全日空パイロットの山形さんの「操縦席^{そうじゅうせき}から一度だけ西から昇ったお日様を見た!」という新聞記事の内容からの話でした。「好きなことを限界^{げんかい}までやる」「人生には必ずワンチャンスがある。」「よく観察^{かんさつ}する」「君たちには無限の可能性がある。」そして、「夢は必ず実現する。」忘れずにいましょう。

ねん ねんてん先生がやって来た。

坪内稔典先生俳句(愛句)大会 3年

12月13日、俳人^{つぽうちねん}の坪内稔典先生と元安倉中校長の西澤健司先生^{にしざわけんじ}にお越しいただき「第1回



安倉中愛句大会(3年の部)」を盛り上げていただきました。気さくな両先生の言葉の一言一言から俳句がより身近なものに感じられたひとときでした。西澤先生には事前の授業でも全員の俳句にコメントをいただくなど大変お世話になりました。お二人の先生に持ち寄った用紙に俳句やイラストを描いてもらう3年生もあり、大人気のねんてん先生と西澤先生でした。

生徒会執行部のみんなおつかれさまでした

本日の終業式後の全校集会でいよいよ最後のお仕事が終わりました。生徒会執行部の皆さんおつかれさまでした。どうもありがとうございました。

この1年間生徒会を牽引する存在として日々の委員会活動を中心に、地道に取り組む背中を見せてくれました。

また、生徒総会では生徒の意見を取り入れた学校作りに大いに貢献してくれました。また、「服のチカラプロジェクト」では、海外の恵まれない子どもたちを救うプロジェクトのもと、校内の一体感を作るだけでなく、保護者や地域の皆さん、周辺の学校園所も巻き込んだ一大イベントとなり、地域が一体となる取組としても大貢献してくれました。

おつかれさまでした。そして、ありがとうございました。

ちいかわ ハチワレ出現! ~落ち葉アート~

安倉中の裏庭に今年も落ち葉アートが出現しました。今年は天候の不順もありいつもの年と落ち葉の様子も違い、作品に仕上げるための量の確保ができず、かなり苦労されましたが、何とか終業式までに間に合わせることができました。今年は、まずは、パンダのお出ましでした。その後、クリスマスイブの昨日、終業式に間にあわすように「ちいかわのハチワレ」が登場しました。

例年事務室の若本先生が朝の校門の落ち葉掃除から毎日落ち葉を集めて作品に仕上げてくれています。いつもありがとうございます。

第2回安倉中愛句大会(全校の部)

本日、全校の皆さんに投句をしてもらっているはず。(この原稿は前日書いています。) ことば紡ぎで楽しい時間を過ごせたかな。結果は来年のお楽しみ。

